

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク



200号(九州)

にぎわい 通信



九州からは、対馬市より
対馬の夏の風物詩、
「対馬巖原港まつり」
の様子をお伝えします。

対馬の夏を盛り上げる！「対馬巖原港まつり」開催

2016年8月6日（土）～7日（日）、長崎県対馬市巖原町の巖原港特設ステージをメイン会場に、対馬巖原港まつりが開催されました。

ビーチバレー大会、舟グロー大会、納涼花火大会、子供みこし、歌謡ショー、海上保安部による体験航海、よさこいなど多彩な催しで盛り上がりました。舟グローとは和舟の競争のことで、「舟くらべ」が転じて「舟ごろう」「舟ぐろう」となったと言われています。



また、「朝鮮通信使」の行列を再現したパレード、「朝鮮通信使行列」は、7日に日韓両国から約300人が参加して行われました。江戸時代、豊臣秀吉の朝鮮出兵によって途絶えていた日朝の国交を回復しようと、幕府と李氏朝鮮の間を対馬藩が仲介して交渉し、国交を回復させました。1607年、朝鮮国王は日本に使節を派遣し、これが江戸時代の朝鮮通信使の始まりだといわれています。通信使はソウルを出発し、釜山港から船に乗って江戸を目指しました。対馬藩は、この使節団を江戸まで警護・案内する重要な役割を果たしていました。通信使には、学者や医者、画家や文人なども一緒に来日しており、文化や学問、海外事情について交流が行われました。「朝鮮

通信使行列」は、このときの通信使一行を再現したもので、総勢 300 名が民族衣装に身を包み、パレードを行いました。



みなさんも、国境の町・対馬で異国情緒あふれる体験をしてみませんか？

対馬厳原港まつり： 毎年8月 第1土・日曜日開催

<お問い合わせ>

厳原港まつり振興会事務局（対馬市商工会厳原支所）

☎0920（52）0452／0920（52）5046／FAX 0920（52）6169